

【O-1170】

血液汚染事故防止への取り組みと意識調査

(医) 腎不全センター幸町記念病院

○草地陽子 (くさち ようこ), 西村里見, 大野呂和栄, 小野みね子,
小井正美, 秦 佳子, 岡 良成, 高津成子, 宮崎雅史

【はじめに】 血液汚染事故防止は透析室での安全管理上重要な課題である。当院では平成 16 年の HCV 抗原陽性者のゾーニングを機に感染対策を強化し血液汚染事故減少に繋がった。今回アンケートによる意識調査を行ったので報告する。

【対策の実際】 セミナーの開催, 医療廃棄物処理方法変更, 穿刺針変更, ゴーグル着用義務付け, 事故報告書・マニュアルの改訂, 事故処理手順書の作成, アンケートによる意識調査

【結果・考察】 9 割以上のスタッフが血液汚染事故に注意していたが, ゴーグル着用が少数できていないことが今後の課題である。スタッフの 5 割以上が血液汚染事故を経験しているが, 物品や環境を整備したことにより 1 年余りは血液汚染事故が発生していない。アンケートを行なったことにより, 事故処理手順や事故防止の再認識に繋がったと思われる。

【まとめ】 物品や環境の改善は対策の遵守をより容易にし, アンケートによる検証は危険性の再認識や防御意識向上に有効であった。